

寅さん歩 その27

サンアントニオ散歩—1



平野 武宏

2023年（令和5年）2月開催の第18回I V Vオリンピックアード サンアントニオ大会に参加しました。国際市民スポーツ連盟（I V V）主催で2年に一度、開催される国際市民スポーツ（ウォーキング・水泳・自転車等）の大会です。

開催地は世界各地の持ち回りで、これまではヨーロッパやアジアで開催してきましたが、今回はアメリカ テキサス州サンアントニオで、ヨーロッパを離れてアメリカでの初開催です。写真右上は開会式風景です。寅次郎、I V Vオリンピックアードの初参加は2007年（平成19年）第10回エストニア大会でした。でもこの時の参加の主目的は前年に記録的猛暑により死者が出て、一日目で中止となった

第90回オランダ フォーデーマーチ（毎年開催で年齢に応じて30・40・50kmを4日間歩く世界最大のウォーキング大会）のリベンジで第91回オランダ フォーデーマーチの参加でした。日本からのツアーに第10回I V Vオリンピックアードが付いていて初体験しました。長い距離を求めてひたすら歩いていた寅次郎には市民スポーツを自由に選び、楽しむ、この大会の魅力にすっかりはまり込んでしまいました。

日本市民スポーツ連盟のHPで第18回サンアントニオ大会の参加者募集を見た寅次郎、2021年3月前立腺全摘手術後の完全に戻らない体調、2022年11月80歳を迎えたこと、新型コロナ禍や円安のこの時期でのアメリカ行きには躊躇していました。

でも次のことが背中を押してくれて参加しました。

- ・第12回トルコ大会、第13回イタリア大会、第15回ドイツ大会、第16回フランス大会と一緒に歩き、次の大会も一緒にと話していた親友の長津豊さん（FWA相談役・元事務局長）が2022年6月逝去、長津さんの写真を持ってアメリカ テキサスを歩きたい。
- ・フランス大会でお会いして、日本市民スポーツ連盟HPに「平野寅次郎のYR散歩」連載のきっかけとなった日本市民スポーツ連盟 川内基裕会長にまたお会いしたい。

- ・80歳を超え、足が衰えても「だれでも いつまでも」のウォーキングの在り方を陽気で明るいアメリカの大会で見つきたい。
- ・HPでサンアントニオ市長のメッセージ動画を見て、行って見たい所だと思ったこと。
- ・この大会はI V Vオリンピック（日本市民スポーツ連盟管轄）と国際マーチングリーグ（IML）（日本ウォーキング協会管轄）が一体となった大会で、その運営に興味を持ったこと。
- ・プログラムに市民スポーツの種目の他に市主催の面白そうな行事があったこと。
- ・今回がI V Vオリンピックの最後になるかもしれないと思ったこと。

体力・視力・聴力・記憶力等が衰え、英語力も乏しい寅次郎の大会報告ですので聞き違い・勘違いや抜けていることがあるかと思いますが、ご容赦ください。

[事前準備]

日本市民スポーツ連盟のツアーに応募したのは寅次郎と老いた父の面倒をみようと休暇を取って参加した寅次郎の娘（ウォーキング大会初参加）、京都から参加のベテラン ウォーカー1名の計3名と、日本市民スポーツ連盟の川内会長と藤本さんを加えた合計5名でしたので団体ツアーが組めませんでした。大会参加登録と航空機チケット手配・支払い以外の事前準備は個人で行い、ホテルの予約・アメリカ入国のESTA取得・誓約書手続き、ワクチン接種証明登録（スマホに登録）、海外旅行保険契約等の事前準備は娘がやってくれて助かりました。大会中のサンアントニオの週間予報の気温は日中20～30℃、夜間6～15℃、直前には0℃近い夜もあったとの情報で半袖と長袖の両方を準備しました。寅次郎、1964年（昭和39年）99日間\$99のグレイハウンドバスのチケットで友人3名と1ヶ月間アメリカを回って以来、59年ぶりのアメリカです。当時は\$1=360円の固定レート、出国時の海外持ち出し\$500までの時代でした。サンアントニオはニューオーリンズに向かう夜行バスで通過しています。

[2月18日（土）]

成田空港での手続きは4年前のフランス行きとは大きく変わっていました。パスポートを置いての顔認証チェック、手荷物検査ではカメラは出さず、スマホだけ別に出しました。ユナイテッド航空成田発18日17時25分、ヒューストン着は予定より早い18日13時47分、国内便でヒューストン発18時26分、

サンアントニオ着 19 時 17 分の長い空の旅でした。ヒューストン空港からマスク姿はありません。ヒューストンでの検査は帽子・上着・靴まで脱ぐ厳しいものでした。写真下左はヒューストン空港、右はサンアントニオ空港の幌馬車展示です。アメリカの西部にやってきた感がありました。



サンアントニオはアメリカ合衆国の中南部に位置し、メキシコと国境を接し、首都ヒューストン・ダラスに並ぶテキサス州の大都市です。ダウンタウンにあるホテルへはタクシーを拾う予定でしたが、“I V V オリンピアド歓迎”の看板を持った方がいて、行き先を云うと「バンなので後 3 人乗れるよ」と話しかけてきました。悪質な客引きかと若干の疑いを持ちましたが、無料だと言われて、まずは荷物が先に出ていた寅次郎親子が乗せてもらいました。乗っていたのは I V V ドイツの偉い方ご夫妻他の 3 名でした。運転手は大会運営のアメリカズ ウォークキングクラブの会長さんで驚きでした。空港へ引き返して川内会長さんら 3 名の迎えもお願いしました。お二人とも川内会長は御存じの方で、ご厚意を疑ってしまい、大変失礼いたしました。ラッキーな長い 18 日の締めくくりでした。ホテル着は日本時間では 19 日午前 11 時頃で、15 時間の時差です。



「LA QUINTA INN&SUITES」(写真左)はダウンタウンの大会オフィシャル契約のホテルで大会本部が置かれ、多くの海外からの大会参加者が泊まっていました。部屋に入り、まずはデジカメ・スマホの充電確認です。そのまま使えて安心でした。TVで天気予報を見ると明日は晴、気温は 64° F に驚き

ましたが、約 17°C のことです。ヨーロッパで苦労したトイレの高さは日本並でしたが、高いベッドで第一夜の眠りにつきました。

[2 月 19 日 (日)]

朝食は7時からなので1F キャフェテリアへ行くと、すでに満席状態でしたが、隅に席を確保出来ました。高級ホテルではないのでbuffeのメニューはスクランブルエッグとソーセージです。飲み物・パン・果物は各種ありました。写真下左は寅次郎の朝食です。一緒にヨーロッパの大会に行った長津さんが見たら少ないと驚く量です。短い距離を歩く老人の朝食です。1Fの本部で大会記念品（写真上右）をいただきました。参加費は事前に\$105支払っています。



袋の中には名札、パスポート類、大会Tシャツがありました。この大会はIVVオリンピックアードと国際マーチングリーグ（IML）が一体になった大会（参加費は別々）なので、袋の左のマークはIML、真ん中はアメリカズウォーキングクラブ、右はIVVのマークが並んでいます。アメリカズウォーキングクラブが両協会とサンアントニオ市を取りまとめて運営しているようです。袋の中にはさらに写真下左の大会イベントスケジュール、サンアントニオ市の地図、雨カッパ、カットバン、資料などが入っています。アメリカの大会らしく多くの協賛スポンサーがあり、プレゼント袋（写真下右）には水・バナナ・お菓子・宣伝のパンフレットがありました。協賛スポンサーからの提供のようです。

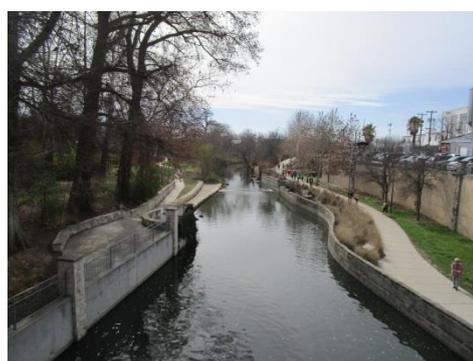


10時からの「キングウィリアム コミュニティ ウォーク」のスタート地点「キングウィリアム公園」へ行きました。行き方の地図は記念品の中にあります。

キングウィリアム公園は歴史地区にあり、瀟洒な住宅街です。
自由歩行で住宅街やサンアントニオ川のリバーウォーク 5k コースを歩きました。
写真下左はテキサスとアメリカの旗を掲げたスペイン風の家（売りに出ていますが、数字は連絡先の電話番号でした）、写真下右は給水ポイント風景です。



写真下左は旗を持ってグループで歩く台湾のウォーキングチーム（台北山岳協会）の方々（川内会長とも懇意で台湾土産を頂いたり、最終日のパーティではご一緒してお世話になりました）と交流する娘、写真下右はリバーウォークの道です。ゴールではアメリカズ ウォーキング クラブから T シャツのプレゼントがありました。大会前の参加者同士や地域（歩く土地や人）と交流するコミュニティウォークは良い企画です。



13 時からはキングウィリアム公園から開会式会場の「LA VILLITA」(写真下右)までのフラッグパレードで 27 の参加国が旗を持って行進です。
写真下左はパレード前の川内会長とのツーショット、寅次郎の首には参加パスポートと共に昨年亡くなった親友 長津豊さんの写真がぶら下がっています。長津さんとは 2011 年トルコ大会、2013 年イタリア大会、2017 年ドイツ大会、2019 年フランス大会と一緒に歩きました。



川内会長の掲げる日の丸の後（写真上右）には我々4名と別グループで参加の4名の計9名が日本チームでした。9名の内3名がFWA会員でFWAの国際進出を誇らしく思いました。白バイも動員してパレードのための交通規制です。

パレードを見る家族づれに日本市民スポーツ連盟から頂いた缶バッチを配ると喜ばれました。アメリカの参加者からは星条旗の小旗やバッチをいただきました。お互いのスモールプレゼントはウォーキングの理解や盛り上げに有効な方法です。

13時45分から開会式（写真下左）です。サンアントニオ川を挟んだ会場は右側が舞台、左側が観客席です。前の川には観光客を乗せたボートが通り過ぎ、互いに歓声を挙げていました。



参加各団体の旗、軍隊による星条旗の入場、アメリカ国歌斉唱後、I V V旗が入場、大会の開会が宣言されました。挨拶は英語でドイツ語の通訳です。

寅次郎、オリンピックアードの発祥がドイツなのでと推測しました。ミス テキサス嬢の聖火入場（写真上右）もあり、まさにオリンピックアードです。

時差ぼけで眠くなり、15時からの高校生によるメキシカン音楽演奏で我々は引き上げました。

ホテルで一休みしての我々5名の最初の夕食はホテルの前にある「デニーズ」(写真下左)でサーロインステーキ(写真下右)を食べました。チップは取らず\$17.58(税\$1.2込み)でした。



2月20日の報告へ続きます。

平野 寅次郎 拝